

「第4次三豊市男女共同参画プラン」策定の方向性について 【現状認識】

男女共同参画を取り巻く近年の主な社会的潮流

- ・ 総人口の減少や少子高齢化の更なる進行
- ・ 労働力人口の維持、社会の持続的な発展に向けた女性の活躍の推進
- ・ ICT（情報通信技術）の進化や社会全体のDX^{※1}の加速等による働き方改革の進展
- ・ SDGsへの認知、関心度の高まり（三豊市では64.9%の認知率^{※2}）
- ・ 「全世代型社会保障」に関する議論の活発化による、男女が希望どおり働ける社会づくりの推進・・・など

※1 【DX（Digital Transformationの略）】デジタル技術の有効な活用を図り、新たな価値を生み出すこと。

※2 「三豊市地域福祉の推進に関するアンケート調査(令和3(2021)年12月実施)」結果より

働く女性の力が十分に生かされていない現状

- ・ 企業等における管理職等政策・方針決定過程に就く女性の割合の低さ（部長相当職6.9%、課長相当職11.4%^{※3}）
- ・ 結婚や妊娠・出産といったライフステージの転機における退職の慣行
- ・ 全国の工学分野に占める女性比率の低迷（大学生の分野別進路状況をみると、工学分野に占める女性比率は15.2%と発表されており、理学分野も30.2%にとどまっている。）・・・など

大学入学者に占める
理系分野別の女性比率

工学	15.2%
理学	30.2%
農学	45.7%
医歯薬学	58.1%
その他保健	71.5%

資料：内閣府（令和3(2021)年度）

※3 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の結果を基に内閣府が算定した数値（令和元(2019)年）

新型コロナウイルス感染症の拡大による生活への影響

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大による、テレワークや時差出勤など働き方の変化
- ・ 外出自粛に伴う不安やストレスによる、家庭内でのDV被害等に対する危惧の高まりなど

国の「第5次男女共同参画基本計画^{※4}」における基本的な視点

- ・ あらゆる分野における、男女共同参画・女性活躍の視点の常時確保と施策への反映
- ・ 指導的地位に占める女性の割合を2020年代の早期に30%程度となるよう目指す
- ・ 男女共同参画や女性活躍の視点を家庭や地域などの生活の場全体に拡大
- ・ 人生100年時代を見据えた取組
- ・ AIやIoT等科学技術の発展に男女が共に寄与し、男女共同参画に資する形で進むこと
- ・ 女性に対するあらゆる暴力の根絶に向けた取組の強化
- ・ 女性が安心して暮らせるための環境の整備
- ・ 男女共同参画の視点による防災・復興対策の浸透
- ・ 地域における様々な主体が連携・協働する推進体制のより一層の強化
- ・ 男女共同参画社会の形成を牽引する人材の育成

※4 【第5次男女共同参画基本計画】令和2(2020)年12月に閣議決定

国の「女性版骨太の方針 2022」^{※1}における基本的な考え方

I 女性の経済的自立

- ・ 女性のデジタル人材やリカレント教育などを通じた男女間賃金格差への対応、地域におけるジェンダーギャップの解消、アンコンシャスバイアスの解消、女性の視点を踏まえた社会保障制度、ひとり親支援・・・など

II 女性が尊厳と誇りを持って生きられる社会の実現

- ・ 性被害、性暴力対策、DV防止対策及びハラスメント防止対策の強化、困難な問題を抱える女性への支援・・・など

III 男性の家庭・地域社会における活躍

- ・ 男性の育児休業取得の強力な推進、長時間労働慣行の是正、テレワーク等多様な働き方の促進、男性の育児参画を促進するインフラの整備（ベビーチェア等の男性トイレへの設置促進など）、相談窓口の拡大・・・など

IV 女性の登用目標達成（第5次男女共同参画基本計画の着実な実行）

- ・ 政治分野における男女共同参画の推進、男女問わず働きやすい環境整備、女性役員比率の向上、理工系を目指す女子学生への支援・・・など

※1 【女性版骨太の方針 2022(女性活躍・男女共同参画の重点方針 2022)】令和4(2022)年6月に内閣府男女共同参画局で策定(すべての女性が輝く社会づくり本部及び男女共同参画推進本部)

県の「第4次かがわ男女共同参画プラン」^{※2}が目指す方向

基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくりの推進

- 1 男女共同参画の視点に立った意識の改革、社会制度・慣行の見直し
- 2 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実
- 3 国際的視点に立った男女共同参画の推進

基本目標Ⅱ あらゆる分野における女性の活躍の推進

- 4 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
- 5 新しい働き方の推進等による仕事と生活の調和の実現
- 6 働く場における女性の活躍推進
- 7 農林水産業における男女共同参画の推進
- 8 地域における男女共同参画の推進
- 9 科学技術・学術における男女共同参画の推進

基本目標Ⅲ 安全・安心に暮らせる社会の実現

- 10 防災における男女共同参画の推進
- 11 女性へのあらゆる暴力の根絶
- 12 生涯を通じた健康支援
- 13 困難を抱えたあらゆる女性等への支援と多様性を尊重する環境の整備

※2 【第4次かがわ男女共同参画プラン】令和3(2021)年10月に策定

現行計画「第3次三豊市男女共同参画プラン」における重点施策の振り返り

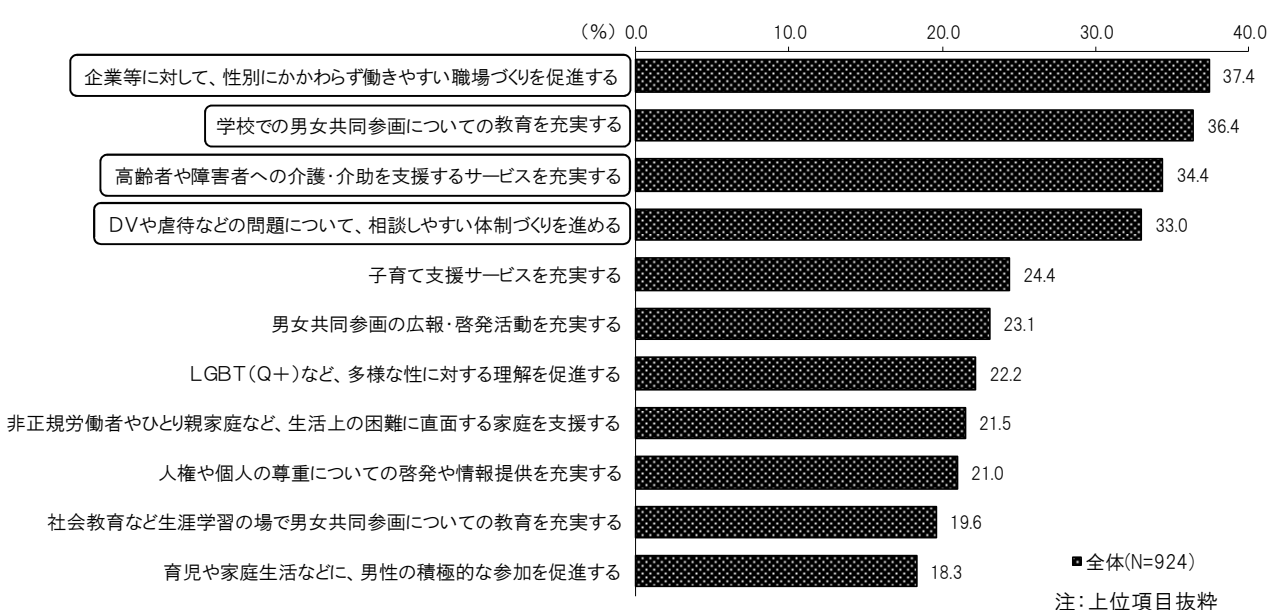
重点施策1 男女の働き方改革（家庭・地域生活と職業の両立支援）

- ・ 放課後児童クラブにおける支援員研修等によるスキルアップ、発達支援相談など育児相談事業の充実、ファミリー・サポート・センター事業や延長保育等の実施などによる子育て支援の充実を図りました。
- ・ 男女が協力して介護を行うための家族介護教室の開催などをはじめ、地域包括支援センターの機能強化や高齢者介護サービスの充実に取り組みました。
- ・ 子育てに関する学習会の開催や授業参観などへの参加促進をはじめ、あらゆる世代の家事、育児、介護などへの参画促進に努めました。
- ・ ファミリーフレンドリー企業の事例紹介や経営者向け女性活躍推進セミナー等の開催、女性活躍推進法やイクボスに関する情報提供の充実など、事業所へのワーク・ライフ・バランスの理解促進に努めました。

重点施策2 あらゆる人権の尊重

- ・ 人権尊重に関する広報等を活用した啓発活動の推進をはじめ、地域メディアにおける女性の人権尊重を踏まえた表現の見直しや意識付けを強化しました。
- ・ 児童・生徒を対象とした、インターネット等における人権尊重意識の高揚に向けた授業をはじめ、講演会等を実施しました。
- ・ 国際交流活動の促進や国際理解活動への協力など、国際理解と交流の推進を図りましたが、コロナの影響で十分に実施できていません。
- ・ 性的マイノリティへの理解促進のための啓発活動をはじめ、当事者団体を交えた研修会や座談会、LGBT啓発講演会の実施などを通じて、性の多様性への理解を促進しました。

男女共同参画の推進に三豊市が力を入れるべきこと（市民アンケート調査結果）



事業所ヒアリングにおける行政に対する主なニーズ（対象 17 社）

- ・ 子育て支援・介護サービスに充実による従業員への負担軽減と女性活躍の場の拡大
- ・ 女性の活躍や男性の育児休業に関する好事例の情報提供
- ・ 工場など理工系企業に女性が入社しやすい環境づくり

これからの男女共同参画社会づくりに向けて（主なキーワード）

- ・ 一人一人が生きがいを持って社会で活躍できる環境づくり
- ・ 結婚・出産・子育てしやすい環境づくり
- ・ 誰もが安心して暮らせるまちづくり